

学力向上のカギは知っていることばの数、語彙(ごい)、ボキャブラリーを  
辞書を用いて確実に増やすこと

—辞書で調べた「ことば」は「音読練習」と「書き取り練習」で必ず身に付けよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

今日は、開倫塾で今年の3月から「学習塾基本調査」というものを5000名以上の方に本格的に実施して、どのような人がどのような学習をすると成績が上がるのかという結果がまとまりつつありますので、その結果を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

2. 少し前にもお話したかもしれませんが、成績が少しずつ上がっている塾生の皆さんに共通していることの一つに、辞書を活用しているということが調査の結果判明いたしました。辞書を活用している生徒さんは、おしなべて学力が少しずつ上がっています。非常に上がった生徒さんもいます。逆の言い方をすると、辞書を活用している生徒さんは成績が下がる方はあまりいませんでした。ほとんどの生徒さんが上がっていました。

3. そこで私がお勧めしたいのは、学習をするときに辞書を活用することです。本を読んだり、学校の学習をしたり、テレビを見たり、ラジオを聞いたりしてわからないことばに出たらどうしたらよいか。まずは、わからないことばが出てきたら、「ちょっと気持ちが悪いな」と考えることが大事です。次にどうしたらよいかというと、ことばの意味を調べることができるのが辞書ですので、辞書を身近に置いておっくうがらないで調べること、これが大事かと思えます。もし、わからないことばが日本語でしたら国語辞典を使って下さい。英語でしたら英和辞典、中国語でしたら中国語辞典、スペイン語でしたら西和(スペイン語・日本語)辞典、フランス語は仏和辞典、ドイツ語は独和辞典などたくさん辞典がありますので、図書館などで外国語の場合には使って下さい。

4. 辞書を引くと「あ、そうか。これはこういう意味なんだ」と「ことばの意味」がわかりますよね。「ことばの意味」がわかったら次に大事なことは、辞書を引いて調べた「ことばの意味」をノートにメモをすることです。ノートにメモをしないとあとで忘れてしまいます。何回も何回も辞書を引けばよいという考えもありますが、私は、せっかく辞書を引いたのですから、調べた瞬間にことばの意味をノートにメモをする学習、習慣を一日も早く身に付けるとよいと思います。では、何のためにメモをするのかといいますと、メモをしたノートを何回も何回も読み直して、身に付けるためです。できれば同じノートにずっとメモをし続けて、ノートにメモをした内容は1ページ目から何回も何回も繰り返して学習し続けることを強くお勧めします。

5. 私がお勧めする学習方法は、声を出して繰り返し読む「音読練習」ですね。それから、書く練習もしたほうがよいと思います。「書き取り練習」をするととても覚えやすいです。書き取り練習をして、辞書を引いたことばとその意味の2つを覚える。このようにしますと、自分の知っているこ

とばの数が飛躍的に増えます。ある人が知っていることばのことを「語彙(ごい)」といい、英語でいうと「ボキャブラリー」ですね。自分の知っていることばの数を増やすこと・語彙を増やすこと・ボキャブラリーを増やすことが、学力を高めるのに大事です。英語に限らずすべての言語の学習の基本は文法の基礎を身に付けることと、身に付けていることばの数を増やすことです。もちろん、読解や作文、リスニングや話すことの基礎も大切ですが、特にことばの数を増やすこと、文法の基礎を身に付けることは大切です。

6. 教科書に書いてあることの意味がわからなければ、学力を付けるのはなかなか難しいです。学校や学習塾などいろいろなところで様々な人からお話を聞くとお思います。話していることばがわからないと学力が付きにくいです。放送を聞いたりテレビを見たりして話していることばがわからなかったら、内容もわかりません。

7. 試験の問題を解くときに、問題文として書いてあることばの意味がわからなかったら問題を解くことはできません。生活する場合も同じです。いろいろなところに書いてある文字の意味がわからなければ、とても不自由をすることが多いと思います。1つ1つの「ことば」と、その「ことばの意味」を知ることはとても大切です。新しく知ったその「ことば」を身に付け、使いこなすことも大切です。ですから、ことばの意味がわからない場合には「気持ちが悪い」と思って必ず辞書を引く。引いたことばの意味はせっかくですからノートに取って、声を出して読んだり、書き取り練習をしたりして自分のものとして必ず身に付ける。このような学習習慣を一日も早く身につけて、自分の知ってることばの数、語彙、ボキャブラリーをコツコツと増やすことが大切です。

8. しかし、いくら辞書を引いても、ことばの意味がわかっても、一体これはどういうことなのか、よくわからない場合がありますよね。そのような場合には、学校の教科書や各科目の用語集、参考書、図鑑、百科辞典などいろいろなものを使って図書館で調べて、さらに深い学習をするとよいと思います。漢字が読めない場合は、漢和辞典を使って下さい。ただ、漢和辞典の使い方、調べ方がわからないと漢和辞典を使いこなせませんので、辞典の最初のほうに出ている漢和辞典の使い方をよく読んで、使い方を勉強して下さい。辞典の使い方は小学生や中学生は学校で教わる場合がありますが、学校の先生も時間がなくて教えてくれない場合がありますので、自分で勉強するしかありません。また、英語の単語の読み方がわからなかったらどうするか。単語のアルファベットをカタカナ通りに読んでも通じません。英語には発音記号がありますので、発音記号で確認して、必ずノートに書いておくこと。発音記号の読み方がわからないと発音できませんので、頑張って発音記号の読み方も身に付けるとよいと思います。電子辞書には発音が音声として紹介されているものもあります。英語を勉強するときには、英語の意味が英語で書いてある英英辞典も大事ですので、ぜひ活用下さい。もっといえば、たとえ小学生や中学生でも一日も早く英英辞典を使いこなしてください。高校生は全員、英英辞典を使ってください。このような形で、ぜひ辞書を活用していただければと思います。

9. 今日は、学力を高めるにはどうしたらよいかの大調査をした結果、「辞書を活用した生徒は学力が付く」ということがわかりましたので、辞書の活用のしかたについてお話させていただきました。頑張って今日から辞書を引いてみて下さい。お願いいたします。

— 2013年2月23日追記・改訂 林明夫 —